

【AC2409D による 1:1 の設定】

親局のスイッチ設定

・CH 設定スイッチ

・使用する周波数を決めて、親局/子局共に同じ値に設定します。

・U-ID 設定スイッチ

・親局設定にするため、“0”に設定します。

・動作設定スイッチ

グループ ID(DSW1,2) : CH 設定スイッチのグループを設定します。

使用する周波数を決めて、**親局/子局共に同じ値に設定します。**

入力ラッチ機能(DSW4) : 任意

無線通信エラー時出力(DSW5) : 任意

無線通信エラー判定時間(DSW6) : 任意

動作モード(DSW7,8) : AirCode の動作モードを決定します。

1:1 運用の場合、**運用時は DSW7:off , DSW8:off** となります。

親局/子局ともに同じ設定にします。

運用開始前には必ず登録モードを行ってください。

子局のスイッチ設定

・CH 設定スイッチ

・使用する周波数を決めて、**親局/子局共に同じ値に設定します。**

・U-ID 設定スイッチ

・子局設定にするため、“1”に設定します。

・動作設定スイッチ

グループ ID(DSW1,2) : CH 設定スイッチのグループを設定します。

使用する周波数を決めて、**親局/子局共に同じ値に設定します。**

入力ラッチ機能(DSW4) : 任意

無線通信エラー時出力(DSW5) : 任意

無線通信エラー判定時間(DSW6) : 任意

動作モード(DSW7,8) : AirCode の動作モードを決定します。

1:1 運用の場合、**運用時は DSW7:off , DSW8:off** となります。

親局/子局ともに同じ設定にします。

運用開始前には必ず登録モードを行ってください。

-1-

運用手順

登録モードによる AirCode の登録

- ・登録モードを実行します。
登録モードは DSW7:off , DSW8:on となります。親局/子局共に同じ値に設定します。

使用する無線チャンネルの選択

- ・他の無線機器の使用状況を確認し、空いている周波数を選択し、AirCode の CH 設定スイッチとグループ ID(DSW1,2)を設定します。
AirCode が使用する無線適合規格には無線 LAN 機器(IEEE802.11.b/g) , Bluetooth 機器 , ZigBee 機器など数多くの無線機器が存在します。同一の周波数でも使用できますが、混信や妨害の影響により通信品質の低下の原因となりますので、周辺で使用している機器の調査を行うことをお勧めします。

AirCode の設置

- ・ AirCode を設置します。

通信確認モードによる通信テスト

- ・通信確認モードを実行し、設置場所による通信状況の確認を行います。
通信確認モードは DSW7:on , DSW8:off となります。親局/子局共に同じ値に設定します。
- ・通信状況の状態によって、 ~ を繰り返します。

運用モードによる運用開始

- ・ ~ を繰り返し、最適な設置場所が決定したら、運用モードにて 1:1 運用を開始します。
- ・入出力表示ランプにて各入出力が正常に伝送できているかを確認してください。

-2-

【AC2409M による 1:1 の設定】

親局のスイッチ設定

・CH 設定スイッチ

・使用する周波数を決めて、親局/子局共に同じ値に設定します。

・U-ID 設定スイッチ

・親局設定にするため、“0”に設定します。

・動作設定スイッチ

グループ ID(DSW1,2) : CH 設定スイッチのグループを設定します。

使用する周波数を決めて、**親局/子局共に同じ値に設定します。**

入力ラッチ機能(DSW4) : 任意

無線通信エラー時出力(DSW5) : 任意

無線通信エラー判定時間(DSW6) : 任意

動作モード(DSW7,8) : AirCode の動作モードを決定します。

1:1 運用の場合、**運用時は DSW7:off , DSW8:off** となります。

親局/子局ともに同じ設定にします。

運用開始前には必ず登録モードを行ってください。

子局のスイッチ設定

・CH 設定スイッチ

・使用する周波数を決めて、**親局/子局共に同じ値に設定します。**

・U-ID 設定スイッチ

・子局設定にするため、“1”に設定します。

・動作設定スイッチ

グループ ID(DSW1,2) : CH 設定スイッチのグループを設定します。

使用する周波数を決めて、**親局/子局共に同じ値に設定します。**

入力ラッチ機能(DSW4) : 任意

無線通信エラー時出力(DSW5) : 任意

無線通信エラー判定時間(DSW6) : 任意

動作モード(DSW7,8) : AirCode の動作モードを決定します。

1:1 運用の場合、**運用時は DSW7:off , DSW8:off** となります。

親局/子局ともに同じ設定にします。

運用開始前には必ず登録モードを行ってください。

-3-

運用手順

登録モードによる AirCode の登録

- ・登録モードを実行します。
登録モードは DSW7:off , DSW8:on となります。親局/子局共に同じ値に設定します。

使用する無線チャンネルの選択

- ・他の無線機器の使用状況を確認し、空いている周波数を選択し、AirCode の CH 設定スイッチとグループ ID(DSW1,2)を設定します。
AirCode が使用する無線適合規格には無線 LAN 機器(IEEE802.11.b/g) , Bluetooth 機器 , ZigBee 機器など数多くの無線機器が存在します。同一の周波数でも使用できますが、混信や妨害の影響により通信品質の低下の原因となりますので、周辺で使用している機器の調査を行うことをお勧めします。

AirCode の設置

- ・ AirCode を設置します。

通信確認モードによる通信テスト

- ・通信確認モードを実行し、設置場所による通信状況の確認を行います。
通信確認モードは DSW7:on , DSW8:off となります。親局/子局共に同じ値に設定します。
- ・通信状況の状態によって、 ~ を繰り返します。

運用モードによる運用開始

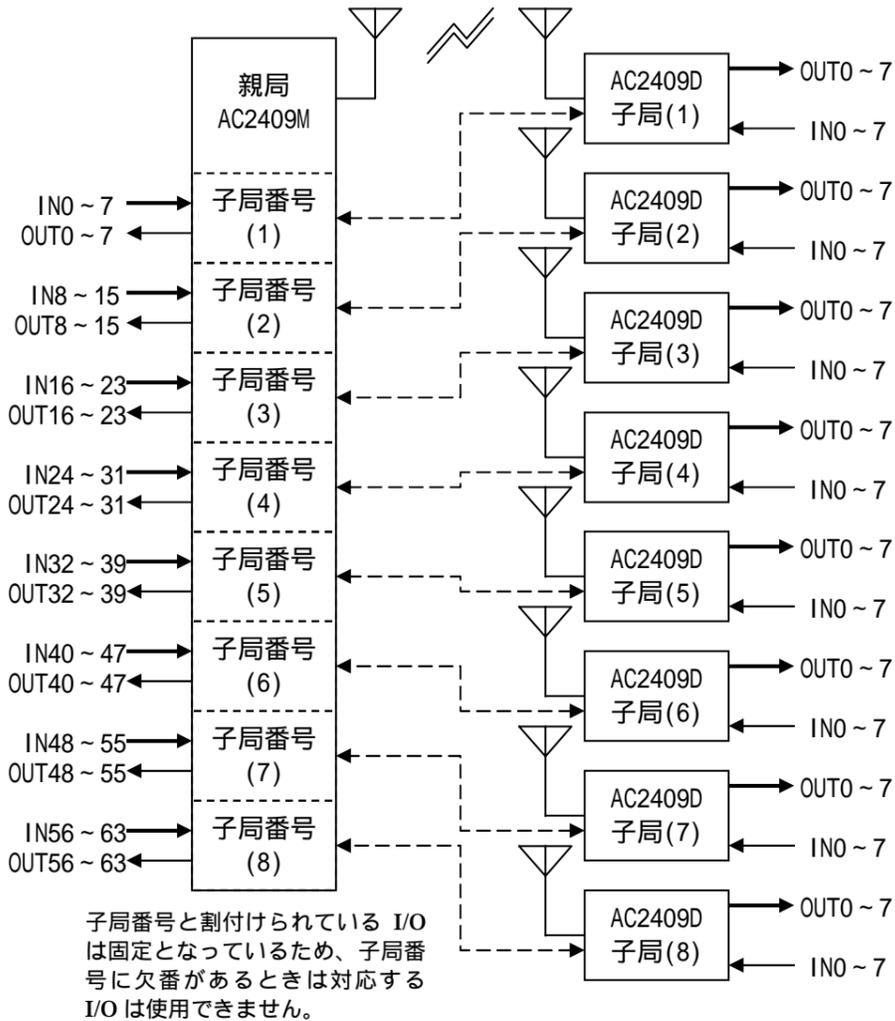
- ・ ~ を繰り返し、最適な設置場所が決定したら、運用モードにて 1:1 運用を開始します。
- ・I/O モニタ LED 表示グループ切替スイッチを切り替えて、各入出力が正常に伝送できているかを確認してください。

-4-

【AC2409M - AC2409D による 1:8 の設定】

1 : 8 について

- ・このモードは親局を AC2409M , 子局を AC2409D の組み合わせでのみ使用可能です。
- ・子局を最大 8 台まで接続できます。
- ・I/O の割付は以下の通りとなります。



-5-

親局のスイッチ設定(AC2409M のみ)

・CH 設定スイッチ

- ・使用する周波数を決めて、親局/子局共に同じ値に設定します。

・U-ID 設定スイッチ

- ・1:8 親局設定にするため、“9” に設定します。

・動作設定スイッチ

- グループ ID(DSW1,2) : CH 設定スイッチのグループを設定します。使用する周波数を決めて、**親局/子局共に同じ値に設定します。**
- 入力ラッチ機能(DSW4) : 任意
- 無線通信エラー時出力(DSW5) : 任意
- 無線通信エラー判定時間(DSW6) : 任意
- 動作モード(DSW7,8) : AirCode の動作モードを決定します。1:8 運用の場合、**運用時は DSW7:off , DSW8:off** となります。親局/子局ともに同じ設定にします。
運用開始前には必ず登録モードを行ってください。

子局のスイッチ設定(AC2409D のみ)

・CH 設定スイッチ

- ・使用する周波数を決めて、親局/子局共に同じ値に設定します。

・U-ID 設定スイッチ

- ・子局番号を設定するため、“1~8” に設定します。

・動作設定スイッチ

- グループ ID(DSW1,2) : CH 設定スイッチのグループを設定します。使用する周波数を決めて、親局/子局共に同じ値に設定します。
- 入力ラッチ機能(DSW4) : 任意
- 無線通信エラー時出力(DSW5) : 任意
- 無線通信エラー判定時間(DSW6) : 任意
- 動作モード(DSW7,8) : AirCode の動作モードを決定します。1:8 運用の場合、**運用時は DSW7:off , DSW8:off** となります。親局/子局ともに同じ設定にします。
運用開始前には必ず登録モードを行ってください。

-6-

運用手順

登録モードによる AirCode の登録

- ・登録モードを実行します。登録モードは DSW7:off , DSW8:on となります。親局/子局共に同じ値に設定します。
- ・1:8 モードの場合、親局は登録する子局の台数分の登録作業を繰り返し行ってください。このとき、登録作業を行う親局と子局以外の電源は off してください。

使用する無線チャンネルの選択

- ・他の無線機器の使用状況を確認し、空いている周波数を選択し、AirCode の CH 設定スイッチとグループ ID(DSW1,2) を設定します。AirCode が使用する無線適合規格には無線 LAN 機器 (IEEE802.11.b/g) , Bluetooth 機器 , ZigBee 機器など数多くの無線機器が存在します。同一の周波数でも使用できますが、混信や妨害の影響により通信品質の低下の原因となりますので、周辺で使用している機器の調査を行うことをお勧めします。

AirCode の設置

- ・ AirCode を設置します。

通信確認モードによる通信テスト

- ・通信確認モードを実行し、設置場所による通信状況の確認を行います。通信確認モードは DSW7:on , DSW8:off となります。親局/子局共に同じ値に設定します。
- ・I/O モニタ LED 表示グループ切替スイッチにより、通信状況の表示を行う子局を切り替えます。(0:子局 1 , 1:子局 2...7:子局 8)
- ・通信状況の状態によって、 ~ を繰り返します。

運用モードによる運用開始

- ・ ~ を繰り返し、最適な設置場所が決定したら、運用モードにて 1:8 運用を開始します。
- ・I/O モニタ LED 表示グループ切替スイッチを切り替えて、各入出力が正常に伝送できているかを確認してください。

サポートツールについて

- ・サポートツールをパソコンにインストールすることにより、パソコン画面上で運用モード時の子局 I/O 状態及び通信エラー率等を表示することが可能となります。
- ・AC2409M 用サポートツールは 1 : 8 モードの親局設定時のみ使用可能です。1 : 1 モード及び 1 : n モードでは使用できません。
- ・以下にサポートツールの主な機能を示します。
通信エラー率表示
子局 I/O モニタ
子局割付情報表示
エラー率ログ出力機能
親局動作設定情報及びファームウェアバージョン表示
- ・サポートツールを使用する場合、専用の USB ドライバ等をインストールする必要があります。

使用方法等詳しい情報やご不明な点は下記へお問い合わせください。

第一版



東朋テクノロジー株式会社

お問い合わせ 0587-24-1214

本社
稲沢事業所

〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目 10 番 22 号
〒492-8501 愛知県稲沢市下津町東五丁目 1 番地
TEL(0587)24-1214

ホームページ

http://www.toho-tec.co.jp

-7-

-8-